

Title	大明寶鈔(一)
Sub Title	
Author	中島, 竊(Nakajima, Sho)
Publisher	三田史学会
Publication year	1927
Jtitle	史学 Vol.6, No.3 (1927. 9) ,p.138(450)- 138(450)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19270900-0138

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

大明寶鈔 (一)

大明寶鈔、縦曲尺一尺一寸三分、横七寸三分五厘、明の大祖の洪武中發行せる所に於て、今に於ては殆ど六百年の星霜を経し者なり。表面上部に大明通行寶鈔の六字を横書し、中部に壹貫の二字と、緡サシに申したる一貫文の錢の形狀を描き、其左右に大明寶鈔天下通行の八字篆文を分書し、下部には戸部奏准印造大明寶鈔、與ニ錢銅ニ通行使用、偽造者斬、告捕者賞銀貳佰伍拾兩、仍給犯人財産、洪武 年 月 日の文を載せ、周圍には雲龍藻華の紋様あり。背面下方には、壹貫の二字と一貫文錢の狀を描く事表面の如くにして、寶紋を以て之を四周せり。又表面に二朱印あり、上方に在る者は、方三寸に近く、下方に在る者は、方二寸六七分、何れも印文模糊として判然ならず、背方上方にも亦一朱印あり、方二寸一分許にして、中央寶鈔の二字は讀み得れど左右各二字は知る可らず、紙質は錦紙と思はれ、原肉粗糙にして、全面淡黑色なり。六百年に近き舊物ながら、大體に破損に無く、且つ年月日の處に、數字の記入無きは民間に發行せられし事なく、恐らく未發行の者にして、戸部の庫中に藏せられ居りしを後來反故紙として、民間に拂ひ出されし者ならん。(一四四頁(續))